

## 令和7年度第1回 上越糸魚川地域医療連絡協議会（書面会議）

（令和8年2月2日 上振健第1111号）

### 公表資料

#### 議題 1

第8次新潟県地域保健医療計画に基づく圏域別取組（ロジックモデル）について

#### 〔質疑・意見等〕

- ・ ロジックモデルは、各課題の整理・抽出に有効な手法であり、既存の問題や手段の評価には適しているが、新たな施策を創出するものではないため、全体像を整理した上で、現行の取組や施策が十分かどうか、新たな対応が必要かを検討する必要がある。
  - いただいたご意見を県地域医療政策課と共有し、計画に基づく施策の推進に取り組んで参ります。
  
- ・ 脳卒中のロジックモデルで高血圧・脂質異常症・糖尿病患者の外来受療率を下げるという目標には違和感がある。外来で適切に受診し2次予防を行うべきであり、外来受療率を下げる目標は逆方向ではないか。
  - 「2次予防」の重要性から、ご指摘の内容はそのとおりと捉えております。一方、外来受療率を「減少」としている真のねらいは、その病気で医療機関に通院し、治療を受けるレベルの人、すなわち「ある程度病気が進行した状態にある人」を減らす、ということと認識しています。現状では、医療機関を受診する患者の状況を簡便かつ的確に把握できる調査がなく、やむを得ず当該指標を適用しているところではありますが、最新の受療率の数値や他県の指標設定の状況等を踏まえ、引き続き的確な指標のあり方を検討して参ります。
  
- ・ 圏域の取組が空欄の箇所について、今後検討が行われるのか。
  - 「圏域の取組」欄につきましては、保健所における取組を中心に整理・記載したところですが、今後、管内市や関係団体等の取組について、重要な部分の記載も検討していきたいと考えております。
  
- ・ 「新興感染症」など、アウトカムの指標が必ずしも数値化されないものがあるが、再度検討がなされる予定があるか。
  - 県地域医療政策課へ確認したところ、現時点で見直しの予定はないとのことでしたが、今後、必要に応じて地域の意見を伝えて参ります。

- ・ 「救急医療」については、圏域内の完結率に注目した指標が含まれてもいいのではないか。
  - 救急医療ロジックモデル「B\_中間アウトカム\_3\_重症度・緊急度に応じた医療を受けられている」の指標として「救急搬送患者の圏域内完結率」を設定しております。また、資料の分量の関係で記載を割愛しましたが、現状値 94.6%から「増加させる」ことを目標としております。

## 議題 2

### 第8次新潟県地域保健医療計画（在宅医療）について

#### 〔質疑・意見等〕

- ・ 上越地域では診療所医師が少なく、外来診療の負担が大きいため、訪問診療に十分な体制が確保されにくい。急変時や夜間対応も困難であり、「かかりつけ型」以上の訪問診療を手掛けられる診療所は少ないのではないか。24時間対応の訪問看護ステーションや、必要時に診療・入院を受け入れる地元病院の役割が大きい。在宅専門クリニックが上越地域に進出しており、その役割が大きくなる可能性がある。
  - 今後は、外来診療部門に求められる在宅医療の比重が増大することが予測され、ご指摘のように医療資源に限られる状況下においては、訪問看護ステーション、病院、在宅専門クリニック等の関係機関との連携体制を構築するとともに、地域の状況に応じ、介護サービス（在宅・入所）、訪問診療、入院（回復期、慢性期）といった多様な受け皿のバランスを最適化していく必要があると考えております。
- ・ 在宅療養の体制整備には賛同するが、上越地域では老々介護や独居世帯など、在宅療養が困難または希望しないケースが多い印象がある。また、在宅医療を担う開業医の減少・高齢化が進んでおり、今後の担い手不足が懸念されることから、在宅中心の体制が持続可能か検討が必要ではないか。
  - 今後は、外来診療部門に求められる在宅医療の比重が増大することが予測され、ご指摘のように医療資源に限られる状況下においては、訪問看護ステーション、病院、在宅専門クリニック等の関係機関との連携体制を構築するとともに、地域の状況に応じ、介護サービス（在宅・入所）、訪問診療、入院（回復期、慢性期）といった多様な受け皿のバランスを最適化していく必要があると考えております。

- ・ 異論はないが、今後の地域医療構想の枠組みの中で、どのような計画が実行性があるかという視点から計画がなされる必要があると思う。
  - 貴重なご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。
  
- ・ 在宅医療は、病院医療と介護の両方に関連するので、特に介護施設の情報とともに検討する必要があると思う。
  - 貴重なご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。